

後 期	10 月		1 正弦定理 [3]	正弦定理の図形的な意味を考察しようとする。 [関]	p.112	中 間 考 査		
				正弦定理を利用して、三角形の辺の長さ、外接円の半径が求められる。[技]	例題 1,2 練習 1,2			
			2 余弦定理 [3]	余弦定理の図形的な意味を考察しようとする。 [関]	p.115			
				余弦定理を利用して、三角形の辺の長さ、角の大きさが求められる。[技]	例題 3,4 練習 3,4			
				余弦定理を空間図形の計量に応用できる。[技]	例題 5 練習 5			
				空間図形の応用では、適当な三角形に着目して考察できる。[考]	例題 5 練習 5			
	11 月	第4章 集合と命題 [14]	集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。	1 集合 [5]	条件を満たすものを集合の要素としてとらえることができる。[考]		例 1 練習 1	
				2 命題と集合 [3]	共通部分、和集合、空集合、部分集合、全体集合、補集合について理解している。[知]		p.127,128	
					命題を表す記号を理解し、命題の真偽を考察することができる。[知] [技]		p.129,130	
	12 月				命題の真偽を、集合の包含関係に結びつけてとらえることができる。[考]		例 6 練習 6	
					反例の意味を理解し、命題が偽であることを示すには反例を1つあげればよいことが理解できている。[知] [技]		例 7 練習 7	
					否定の意味及び否定を表す記号を理解している。[知]		例 8 練習 8	
				3 必要条件と十分条件 [4]	十分条件、必要条件及び必要十分条件の定義を理解している。[知]		例 9~11 練習 9~11	
					対偶の定義を理解し、命題の対偶を作ることができる。また、対偶の真偽はもとの命題の真偽と一致することを理解している。[技] [知]		p.134,135	
					対偶を用いた証明法について、興味・関心をもつ。[関]		p.135	
1 月	第5章 データの分析 [15]	統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。		背理法を用いた証明法について、興味・関心をもつ。[関]	p.135			
			1 データの整理 [2]	階級、度数などの用語を理解し、データを度数分布表にまとめ、ヒストグラムをかくことができる。[知] [技]	p.140~142			
				データを度数分布表やヒストグラムに表すことのよさを理解している。[知]	p.140~142			
			2 データの代表値 [4]	最頻値、中央値、平均値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。[技]	例 2~4 練習 2~4			
				データによってどの代表値を用いるのが適切かが異なる場面があることに興味をもち、種々のデータについて考察しようとする態度がある。[関]	p.145			
			2 月			3 データの散らばり [3]	四分位数の定義を理解し、それを求めることができる。[知] [技]	例 5 練習 5
							四分位範囲、四分位偏差の定義やその意味を理解し、それらを求め、データの散らばりを比較することができる。[知] [技] [考]	例 6 練習 6
							箱ひげ図をかき、データの分布を比較することができる。[技] [考]	例 7 練習 7
							分散、標準偏差の定義とその意味を理解し、分散、標準偏差を求めることができる。また、それらを用いてデータの散らばりを比較することができる。[知] [技] [考]	例 8 練習 8
							四分位偏差と標準偏差の違いについて理解している。[知]	p.152
						期 末 考 査		

	3月	4 データの相関 [2]	2つのデータの相関を求める意味を理解し、散布図をかいて、データの相関を考察することができる。[知] [技] [考]	p.153~155	学年末 考查
			相関係数の意味を理解し、その数値からデータの相関を考察することができる。[知] [考]	例10 練習11	
		確認問題 [4]			

3 評価の観点と評価方法

	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
評価の観点	図形と計量，集合と命題及びデータの分析における考え方に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に活用して数学的な考えに基づいて判断しようとする。	図形と計量，集合と命題及びデータの分析において，事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。	図形と計量，集合と命題及びデータの分析において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	図形と計量，集合と命題及びデータの分析における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動への取り組み 課題・提出物の状況 ノート，プリント，レポート等 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考查 提出レポートの内容 提出ノートの内容 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考查 小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考查 小テスト